

論文番号 224

担当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題名 (原題/訳)

Fatigue, alcohol, and serious road crashes in France: factorial study of national data

フランスにおける疲労、アルコール、重大な自動車事故：国の統計における要因分析

執筆者

P Philip, F Vervialle, P Le Breton, J Taillard, JA Horne

掲載誌 (番号又は発行年月日)

British Medical Journal 2001;322:829-30.

キーワード

飲酒、自動車事故、疲労、死亡率、アルコール、

要旨

フランス交通省に登録されている1994-8年の640,670件全ての自動車破損事故を取り上げた。そのデータを基に、疲労とアルコール飲用がどの程度関連しているかを分析するために、単独の事故で歩行者を巻き込んでいないもの、天候良好であったときのもの、薬物使用に関連していないもの、等のみを取り上げ、他の要因を排除した。その結果、多くの都会での事故は除外され、分析対象は67,671件となった。事故調査調書に基づき、アルコール関連事故、疲労関連事故、アルコールと疲労の両方が関連した事故、どちらも関連していない事故、の4群に分けた。その結果、疲労に関連した事故は10%、アルコールに関連した事故は23%であった。アルコール飲用による自動車事故死亡の危険度は4.2倍、重症外傷危険度は1.9倍であった。両方の要因が重なると死亡危険度は6.8倍となった。特に、疲労とアルコールが重なると危険度が高くなったが、従来、警察はアルコールのみに注意が集中していたが疲労も重要な事故要因であることがわかった。